



〔②0〕

婚礼祝儀役割

(銚子島台 拓方 源左衛門・外)

ちょう し しまだいこしらえ

㉐ 婚礼祝儀役割 (銚子島台 拓
方 源左衛門・外)

年不詳 (近世)

伝統的な婚礼には非常に様々な役割が存在しました。この史料は、主に婚礼の裏方を担う人々とその役割を書き上げたものです。三々九度の盃に用いる「銚子島台」の作成担当から、披露宴で供される料理を担当する係、各種給仕係が細かく記されています。また「餽飪方」の記述からは、餽飪が特別な「ハレ」の日の食物であったことを窺わせます。

神戸金貴家文書 P8213 No.8294

(甘楽郡下仁田町本宿)

御茶菓子

内宗年
やつま

温汎方

おおまつ屋
おおまつや
おおまつ屋
おおまつ屋
おおまつ屋
おおまつ屋

膳部方

今吉

酒潤

八十郎

膳部洗方

左之助

膳部方

酒燶

少取持兼
座配人

膳部洗方

座配人

御取持兼

千鶴

萬 龜

太繁 八音 今左 おおおおおおお
三 十 よるとせかまうつ三
郎 藏 八藏 助吉 ねいきいねつらこ
内